

奈良県の森

奈良県の森は、野球場の南西側・約 70mにわたる桜並木のエリアです。春にはピンクの花で染まり、来園者をお迎えます。

ソメイヨシノ (バラ科)

江戸時代末期に江戸の染井村の植木屋さんが、桜の名所「吉野」の名をつけて売り出したのがはじまり。エドヒガンとオオシマザクラの雑種と考えられています。葉が出る前の3月下旬～4月上旬頃に、淡紅色の花が枝全体に付き、豪華絢爛なため、観賞用として日本全国に広まりました。

